

■ 先進自治体における事例まとめ

評価軸	先進事例（主に庁舎施設）		
<p>①市民の使いやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 市民が集まりやすい場所をつくる ◇ 市民が様々な用途で活用することができる ◇ 市民の憩いの場所がある 	 <p>長岡市（ナカドマ） 屋根付きの広場を設け、市民が集える空間を作る</p>	 <p>京都府上京区（市民会議室） 市民が利用できる会議室を設ける</p>	 <p>玉名市（ユニバーサルデザイントイレ） すべての人が使いやすいトイレを設ける</p>
<p>②職員の働きやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 職員が安全・快適に活用できる ◇ 業務スペースが明るくきれいなスペース ◇ 包括ワンストップ窓口がある 	 <p>日向市（市民窓口、木材活用） 窓口の集約化を行い、職員や市民利便性を向上 素材には地元の木材を活用</p>	 <p>氷見市（壁のない柔軟な空間） 間仕切りを設けず、自由度の高い空間を設ける</p>	
<p>③防災機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 防災拠点となる場所 ◇ 非常時の災害支援拠点 ◇ 一時避難場所としての場所 	 <p>阿南市（一時避難所として活用） 吹き抜けの広い空間を、災害時一時避難所として利用</p>	 <p>長崎県（庁舎前の防災緑地整備） 庁舎の前に、災害時の防災路口広場を整備</p>	 <p>秋田市（災害対策本部） 災害時の指令機能の充実</p>

④ まちのシンボル

- ◇ 宮崎らしく明るく・楽しい市庁舎
- ◇ 自然光を取り入れ、みんなが明るく活発に活動することができる市庁舎



京都府上京区（地域産材の活用）
庁舎の建設時、地元の産材を活用



横浜市（水辺プロムナード）
周辺地域との調和を図り、水辺空間を活用



富岡市（周辺景観との調和）
周辺地域との調和を図り、庁舎をデザイン



岐阜市（シンボルとしての建物）
シンボルとなる、庁舎をデザイン

⑤ 環境への配慮

- ◇ 太陽光発電等のエコなエネルギーを活用した発電方法の導入
- ◇ 屋上緑化等の緑の多く庁舎



京都府上京区（屋上緑化）
屋上に、緑地の空間を設ける



京都府上京区（屋上太陽光パネル）
屋上に、太陽光パネルを設置



鳥取市（雨水利用設備）
雨水を貯留し、雑用水として活用



秩父市（日射除ルーバー）
日除けのルーバーを設置

⑥ 情報発信拠点

- ◇ 観光や市政情報等の宮崎市におけるすべての情報が集まる庁舎
- ◇ 防災関係の情報が集まる庁舎



茨城県（県政広報コーナー）
庁舎内に、情報発信の広報コーナーを設ける



福岡県（よかもんひろば/地域食材）
地域の食材を利用した食堂を設ける



福岡市（観光案内サイネージ）
庁舎内に観光案内のためのサイネージを設置

⑦ 稼ぐことができる （収益を生む等）

- ◇ 民間収益施設の導入
- ◇ 公民連携手法によりコストを削減した整備



横浜市（民間商業施設(ブックカフェ)の導入）
庁舎内に、民間によるブックカフェを導入



福岡市水上公園（公園での収益施設）
敷地内に、有料の公園施設を設ける



東大阪市新旭町庁舎（24時間コンビニ併設）
庁舎外に、コンビニを併設



檀原市（庁舎+ホテル複合施設）
庁舎とホテルが一体となった複合施設を建設